

令和3年1定 一般質問 開催状況

開催年月日 令和3年3月12日

質問者 日本共産党 宮川 潤 議員

担当部課 総合政策部政策局参事

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>二 新型コロナウイルス感染症対策等について</p> <p>(一) コロナ対策予算について</p> <p>新年度予算案の感染症対策関係の予算は6,541億円ですが、そのうち知事の努力であることが明確な一般財源による事業はわずか31億円0.5%です。</p> <p>一般財源を捻出してでも感染症対策を自ら進めていくといった知事の意味は感じられません。</p> <p>予定していた事業でも不要不急の事業を中止・先送りすることで、道独自の対策を充実すべきですが、そのお考えはありませんか。今後、事業の振替えや追加の対策で、感染症対策の強化に向けて取り組む考えはありませんか、伺います。</p> <p>(二) 知事の姿勢と対策等について</p> <p>1 「公助」について</p> <p>知事は道政執行方針で、コロナ禍での「共助」を強調しました。一方、保健所のかげがえのない役割が明らかになるとともに、事業者やケアワーカーへの直接支援の必要性が改めて認識されました。コロナ禍によって、公共や行政といった「公助」の重要性がますます明らかになったという認識をお持ちですか。今後、「公助」の強化について、どう考え、実行していくのか、伺います。</p> <p>(再質)</p> <p>知事は、道政執行方針で「ピンチをチャンスに」として、クラウドファンディングで寄附等がたくさん集まったことを「共助」の輪として、「更に大きな力にしたい」とおっしゃっています。知事として、「道民の命と暮らしを守り抜くことを心に刻む」と答弁されましたが、そのための施策が「公助」で、菅首相が「自助・共助・公助」と述べ、公助の位置づけで批判を受けましたが、知事は、寄附集めの「共助」だけではなく、とりわけコロナ禍において、自らの責任で道民を守る「公助」の重要性についてお示し願います。</p>	<p>【知事】</p> <p>来年度の政策展開についてであります。道では、厳しい財政運営が見込まれる中、事務事業のスクラップ・アンド・ビルドを徹底することはもとより、民間資金や国の施策を一層効果的に活用するなど、政策展開に向けた財源の確保を図ってきたところであります。</p> <p>とりわけ、感染症対策に関しては、国の基本的対処方針のもとで、各地域の実情に応じた施策を講じていくことが必要であることから、包括支援交付金や地方創生臨時交付金など国の施策を最大限活用し、感染拡大の防止と社会経済への影響の最小化に向けて必要となる予算を取りまとめました。</p> <p>道としては、引き続き、感染状況を注意深くモニタリングしながら、これらの施策の着実な推進を図っていきますとともに、厳正かつ効果的な予算執行を徹底しつつ、さらなる対策が必要となる場合には、国への働きかけを行うなど財源を確保し、機を逸することなく、機動的に対応してまいります。</p> <p>【知事】</p> <p>今後の政策推進についてであります。本道においては、長引く新型コロナウイルス感染症の流行により、地域社会や経済活動に深刻な影響が及び、多くの皆様が、日々の暮らしや将来に対し大きな不安を抱かれております。私は、本道の行政をあくまで知事として「道民の皆様の命と暮らしを守り抜く」ことを心に刻み、その対応に、しっかりと取り組む考えであります。</p> <p>このため、ワクチン接種をはじめ、検査や医療提供体制の整備など、感染対策の一層の推進を図りますとともに、社会経済への影響を最小限に抑えるため、感染防止や事業継続に取り組む事業者の皆様への支援や生活基盤が脆弱な方々へのセーフティネットの充実に取り組むなど、全庁を挙げて、暮らしの安心確保に向けた施策を積極的に展開してまいります。</p> <p>【知事】</p> <p>今後の政策推進についてであります。感染症の流行が長期にわたり続く中、多くの皆様が、日々の暮らしや将来に大きな不安を抱えているものと痛感しております。道民の皆様、命と暮らしを守る責務を有する知事として、厳しい状況にある事業者の方々や就業者の皆様、そして、生活に困窮されている皆様へのご支援をはじめ、各般の施策に全力で取り組んでまいります。</p>